

モーツァルト室内管弦楽団

Mozart-Kammerorchester Japan

《モーツァルトとハイドン》その6

ハイドン

交響曲 第44番 ホ短調 Hob.I-44 《哀悼》

カール・シュターミッツ

フルート協奏曲 ト長調

モーツァルト

交響曲 第40番 ト短調 K.550



フルート: 大江 浩志



指揮: 門 良一

※開演の10分前より指揮者によるプレトークがあります。



第146回定期演奏会

2012. 3/17 (土)

2:00pm開演 (1:30pm開場)

いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から徒歩3分、「京橋」駅から徒歩7分、
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から徒歩5分。
有料駐車場完備

入場料: 一般 ¥5,000(指定席) / 学生 ¥1,000

*小学生よりご入場いただけます。

※当日会場では大阪ユニセフ協会を通じて東日本大震災被災地の子どもたちのための募金活動を行います。

大阪公演

第17回東京定期演奏会

2012. 3/18 (日)

2:00pm開演 (1:30pm開場)

津田ホール

JR線千駄ヶ谷駅から徒歩1分。
地下鉄都営大江戸線国立競技場駅
A4出口徒歩1分。

入場料: 一般 ¥5,000(当日指定)

*小学生よりご入場いただけます。

東京公演



主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.hi-ho.ne.jp/mozart/> 協賛◆いずみホール [財団法人 住友生命社会福祉事業団] (大阪公演のみ)

マネジメント◆大阪アーティスト協会 (大阪公演) TEL.06-6135-0503 FAX.06-6135-0504 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909
ソレイユ音楽事務所 (東京公演) TEL.042-670-7715 FAX.042-677-6032 〒192-0372 東京都八王子市下柚木3-2-1-506

【前売】
大阪アーティスト協会 050-5510-9645 いずみホール 06-6944-1188 (大阪公演)

ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552 Webチケットの様様 <http://www.soleilmusic.com/> 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (東京公演)
チケットのみ 0570-02-9999(Pコード: 152-922) ローソンチケット 0570-084-005(Lコード: 54417)



モーツァルト室内管弦楽団の11年ぶりの東京公演に寄せて

中村 孝義 (大阪音楽大学理事長・学長)

「持続は力」とはよく言われることである。しかしなぜ「持続」は「力」たりえるのだろうか。何かを始めるきっかけはもちろん人様々だ。それがかけがえのないものであるから始める人もあれば、偶然のきっかけで、あるいはいやいやながら、しかし始めなければならぬから始める人もあるだろう。しかし始めたことを持続していると何かが変わってくる。かけがえのなかったものも、触れれば触れるほど、その対象が謎めき、本当に自分にとってかけがえのないものであったかどうかさえ分からなくなることもあるし、偶然仕方なしに始めたものがかけがえのないものへと変わってくることもある。しかしいずれにしても、終着はそう簡単に見えてくるわけではない。「持続」とは際限なくこのようなことを繰り返すことに他ならない。そしてその繰り返しがもたらすものは、対象へのより深い「理解」と「愛」ではないだろうか。そして人間にとってこの「理解」と「愛」ほど、何かをするための力になるものはないのだ。

関西を中心に活動する門良一率いるモーツァルト室内管弦楽団は、昨年創立40周年を迎えた。40年にわたる活動において、驚くべきことに彼らは、モーツァルトのオーケストラ作品のほぼ全てを演奏したとか。まさに彼らはモーツァルトと言う作曲家とその作品にとことん付き合い、飽くことなく演奏活動を「持続」してきたのだ。その間にはもちろん様々なことがあったろう。しかしその40年の「持続」によって培われた彼らのモーツァルトに対する「理解」と「愛」が何にも増して深いことは推して知るべし。彼らが創立40年を超えたことを節目に、11年ぶりに東京で開く演奏会は、彼らが関西で続けてきた地道な「持続」の成果を問おうというものだ。虚心に耳を傾けていただければ、彼らのモーツァルトや古典派音楽に対する「理解」と「愛」の深さが、きっと心に響くに違いないと信じている。

モーツァルト室内管弦楽団 / 指揮・門 良一 Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、40年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドン、ベートーヴェンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールをに年6回の定期演奏会を開催し、また'74年からは東京定期演奏会を隔年で開催し、既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス('85、'87年)、シプリアン・カツリス('93、'94年)、ペーター・ダム('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キュッヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シティオペラとの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。2007~9年には全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、2009~11年には全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を開催。また2010年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を開始している。

大江 浩志(フルート) Hiroshi Oe, Flute

京都市立芸術大学を経てマンハイム音楽大学卒業、国家演奏家試験に最高点で合格。平成8年度坂井時忠音楽賞受賞。NHK名曲リサイタル出演の他、ソロ、室内楽、オーケストラで活躍。テレマン室内管弦楽団、大阪シンフォニカーを経てモーツァルト室内管弦楽団首席奏者。大阪音楽大学、相愛大学、ムラマツフルートレッスンセンター講師。アンサンブル・ダンツィ大阪、アンサンブル135メンバー。日本フルート協会理事。

モーツァルト室内管弦楽団〈創立40周年〉記念CD好評発売中!!

門 良一 指揮 / モーツァルト室内管弦楽団 各CD2枚1組 特価¥2,000(消費税込) いずみホール / 全プログラム(ライブ録音)

—内田 聡子、80歳の《皇帝》—

第135回定期演奏会(2010年5月30日)

〈前期ロマン派の音楽〉

ウェーバー 《オペロン》序曲

ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 Op.73 《皇帝》

シューベルト 交響曲 第8番 八長調 D.944 《ザ・グレート》

シューベルト 《ロザムンデ》より 間奏曲

ピアノ: 内田 聡子

—フランス音楽特集—

第137回定期演奏会(2010年9月23日)

フォーレ 《マスクとベルガマスク》序曲

ラヴェル ピアノ協奏曲

サン＝サーンス 交響曲 第3番 八短調 Op.78 《オルガン付き》

ラヴェル 《逝ける王女のためのパヴァーヌ》

フォーレ 《ベレアスとメリザント》組曲より《シシリエンヌ》

ピアノ: 油井美加子 オルガン: 片桐 聖子

—ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン—

第140回定期演奏会(2011年3月4日)

ハイドン 交響曲 第82番 八長調 Hob.I-82 《熊》

ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第1番 八長調 Op.15

モーツァルト 交響曲 第41番 八長調 K.551 《ジュピター》

モーツァルト 《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》K.525より 第2楽章《ロマンツェ》

ピアノ: 宮崎 剛

オペラDVD(日本語字幕付き)、記念CD(40周年ガラコンサート他)も続々発売予定!